



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 東都水産株式会社  
 コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6633-1005

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	28,643	4.4	84	13.2	192	26.0	165	26.2
2019年3月期第1四半期	27,425	0.4	97	48.3	259	2.7	224	19.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 164百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 211百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	43.48	
2019年3月期第1四半期	56.51	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	29,493	15,540	52.7	4,071.08
2019年3月期	29,204	15,626	53.5	4,093.69

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 15,540百万円 2019年3月期 15,626百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				65.00	65.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	3.1	1,200	11.9	1,400	18.0	1,000	27.6	261.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	4,026,000 株	2019年3月期	4,026,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	208,764 株	2019年3月期	208,764 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	3,817,236 株	2019年3月期1Q	3,977,381 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦の激化に伴い輸出の下振れが見られるものの、所得環境の改善を背景に消費は増加し、また非製造業の設備投資の増加といった国内需要は底堅く、ゆるやかな回復が持続いたしました。

一方、海外経済においては、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱に伴う欧州経済の不安定等地政学リスクが高まり、先行き不透明な状況が継続いたしました。

水産物卸売市場業界におきましては、海外での需要増加により仕入価格が高止まりし、水産資源の減少や魚の回遊水域の変化による漁獲量の減少、さらに市場外流通との競合とも相俟って取扱数量の減少が続くという厳しい事業環境で推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、今期より本格的に稼働いたしました当社海外事業部による輸出取引の増加及び川越水産市場(株)において2019年4月より運営を開始いたしました一般消費者向け小売店舗「生鮮漁港川越」の売上高増加等により前年同四半期連結累計期間と比べ、4.4%増加の28,643百万円となりました。

売上総利益は増加したものの、当社海外事業部の輸出取引に係る物流経費の増加及び貸倒引当金の繰入等により、営業利益は前年同四半期連結累計期間と比べ13.2%減少の84百万円となりました。

経常利益は(株)埼玉県魚市場で物流センター建設に伴う補助金収入があったものの、受取配当金の減少等により、前年同四半期連結累計期間と比べ26.0%減少の192百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期連結累計期間と比べ26.2%減少の165百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

## ①水産物卸売事業

売上高につきましては、当社海外事業部による輸出取引の増加及び取扱数量の増加等により前年同四半期連結累計期間と比べて4.5%増加の27,551百万円となりました。営業利益は当社海外事業部の輸出取引に係る物流経費の増加及び貸倒引当金の繰入等により前年同四半期連結累計期間と比べて44.3%減少の94百万円となりました。

## ②冷蔵倉庫及びその関連事業

売上高につきましては、(株)埼玉県魚市場で運営している物流センターの売上高増加等により、前年同四半期連結累計期間と比べて0.9%増加の908百万円、売上原価及び販売費及び一般管理費の縮減に努めましたが、営業損失は54百万円(前年同四半期連結累計期間は営業損失116百万円)となりました。

## ③不動産賃貸事業

売上高につきましては、川越水産市場(株)において2019年4月より運営を開始いたしました一般消費者向け小売店舗「生鮮漁港川越」の売上高増加等によって、前年同四半期連結累計期間と比べて20.0%増加の183百万円となりました。

営業利益は、賃貸物件の稼働率低下等に伴い、前年同四半期連結累計期間と比べて28.6%減少の44百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ288百万円増加し、29,493百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比べ221百万円増加し、17,323百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,549百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が544百万円、商品及び製品が618百万円及びその他に含まれております漁業権取得に係る前払金が450百万円増加したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末と比べ67百万円増加し、12,169百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ375百万円増加し、13,953百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末と比べ537百万円増加し、7,675百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が468百万円増加したことによるものです。固定負債は、前連結会計年度末と比べ162百万円減少し、6,277百万円となりました。主な要因は、長期借入金が225百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ86百万円減少し、15,540百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が85百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の53.5%から52.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月7日に発表しました数値から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,078	5,528
受取手形及び売掛金	6,779	7,323
商品及び製品	3,351	3,970
仕掛品	4	2
原材料及び貯蔵品	201	171
その他	345	950
貸倒引当金	△658	△624
流動資産合計	17,102	17,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,516	3,763
土地	3,194	3,195
その他(純額)	1,223	1,143
有形固定資産合計	7,934	8,102
無形固定資産	1,591	1,607
投資その他の資産		
その他	2,767	2,685
貸倒引当金	△191	△225
投資その他の資産合計	2,576	2,459
固定資産合計	12,102	12,169
資産合計	29,204	29,493
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,189	3,657
短期借入金	2,939	2,859
未払法人税等	72	46
賞与引当金	90	179
その他	845	931
流動負債合計	7,137	7,675
固定負債		
長期借入金	3,587	3,362
退職給付に係る負債	1,130	1,096
株式給付引当金	28	28
資産除去債務	84	123
その他	1,609	1,666
固定負債合計	6,440	6,277
負債合計	13,577	13,953

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,048	1,048
利益剰余金	12,512	12,427
自己株式	△462	△462
株主資本合計	15,474	15,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	490	410
繰延ヘッジ損益	1	0
土地再評価差額金	360	360
為替換算調整勘定	△675	△599
退職給付に係る調整累計額	△24	△20
その他の包括利益累計額合計	152	151
純資産合計	15,626	15,540
負債純資産合計	29,204	29,493

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	27,425	28,643
売上原価	26,177	27,193
売上総利益	1,248	1,449
販売費及び一般管理費	1,150	1,364
営業利益	97	84
営業外収益		
受取利息	10	17
受取配当金	100	56
補助金収入	—	33
通貨スワップ評価益	—	8
為替差益	56	—
その他	15	9
営業外収益合計	183	124
営業外費用		
支払利息	7	7
為替差損	—	6
通貨スワップ評価損	8	—
その他	4	3
営業外費用合計	20	17
経常利益	259	192
税金等調整前四半期純利益	259	192
法人税、住民税及び事業税	38	44
法人税等調整額	△3	△17
法人税等合計	34	26
四半期純利益	224	165
親会社株主に帰属する四半期純利益	224	165

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	224	165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△80
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△467	76
退職給付に係る調整額	9	3
その他の包括利益合計	△436	△1
四半期包括利益	△211	164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△211	164
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,372	900	152	27,425	—	27,425
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29	217	20	267	(267)	—
計	26,401	1,117	173	27,693	(267)	27,425
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	169	△116	62	115	(18)	97

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△18百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,551	908	183	28,643	—	28,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	121	18	146	(146)	—
計	27,558	1,030	201	28,789	(146)	28,643
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	94	△54	44	84	(0)	84

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△0百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。